

# 石炭政策の見直しを

## 三池主婦会が定期総会開く

三池主婦会は八月二十七日、第 田支店二階で開きました。三十六回定期総会を労働金庫大牟田 来賓として、中原組合長をはじめ



「1人の首切り、出向も許さない」と決意した総会

め吉総評主婦の会副会長、細谷 治通社会党本部副委員長(衆議 院予定候補者)、長谷川福高県議、 酒井熊本県議、大橋・島大牟田市 議、坂本・前川荒尾市議、五島・ 吉田元会長の皆さんが出席、激 励と連帯のあいさつをいただきました。

野田事務局長の開会あいさつの あと、藤田会長が「三年連続の首 切り合理化との闘いもいよいよ重 要な段階を迎えています。一人 の首切り、出向も許さなければなら ません。昨年、不当解雇された三十一 人の裁判闘争もともに闘っていき ます。また、参院選勝利の力を来 る総選挙に引き継ぎ、第八次石炭 政策の見直し、消費税廃止を実現 させなければなりません」と、決 意を込めてあいさつ。中原組合長 からは、合理化反対闘争の現状報 告を兼ねた激励のあいさつを受け ました。

### 一九八九年度役員

- 会 長 藤田美代子(再)
- 事務局長 野田多美子(再)
- (兼会計)
- 監 査 米村 朝子(再)
- 監 査 西川キヨ子(新)
- 上部役員 平川 弘子(再)
- (福岡県評主婦の会会長)



## 炭鉱も農業も

大牟田ブロック 平川 弘子

「うちの近所の水田では大豆を 植えてあるけど、減反政策による 転作物かしら」農家で勝手に 転作してはわけじゃない、減反 目標があって大変みたいよ」「炭 鉱も、ヤマつぶしの合理化が次つ ぎに出されて大変よね。農民も同 じように苦しめられているので、 今回は自民大敗という参院選の結 果が出たよ」 「石炭切り捨てや農業の減反、 トマトの自由化など、巨悪の根源 給率は今では三三%と不安定な食 戸の対応で異なります。

## あほだら



## 三井石炭は第八次 政策下の犠牲者か

今回の合理化で退職したのは 一般職四百五十三人、一級職八 十六人、計五百三十九人だった。 新労組の掲示板には、新会社 への出向を含めると四百八十五 人になったと書かれてあった。 新労組によると、相次ぐ合理 化を「断腸の思いで受け入れた」 それは、「政府の第八次石炭政 策のもとで、会社も企業努力を したが、これ以上努力のしよう がないところまで来て合理化を 出したのだから、受け入れざる を得なかった」としている。

## 生き残りのために

今度の合理化をどう考える？ Aさん「出向だけの問題でや めるのではないのです。私個人 の都合もあります」と言ってい たが、石炭に見切りをつけてや めていくようだ。 石炭政策を変えさせ、石炭が 存続できれば問題は解決できる のだが、結局展望がない(今の ままでは)と、考えたのではな いか。 Bさんはもっと切実である。 「子供が小さいこと、二人目 が生まれるので、とても心配で、 井鉱山は海外炭を(開発)輸入 単身での「出向」にはとても行 けない。やめたくはないのだけ 一方で、三井石炭をしないに縮 小したい。」

## 職場の声

「いずれも職場新聞『ぎすな』 百二十九号、九月十二日発行か ら。」

## 3年連続合理化反対 石炭守れ、街を守れ

### 大牟田で総決起集会



石炭を守れ大牟田の街を守れ総決起集会

国の石炭政策の転換と、三井 の社会的責任を追及する「三年 連続の合理化反対、石炭を守れ、 大牟田の街を守れ総決起集会」 が九月七日、午後五時三十分か ら大牟田労働福祉会館で「石炭 をツブすな大牟田の街を守る実 行委員会」の主催で開かれました。 集会には、地元大牟田をはじめ 高田町、大和町からも参加、 七百人以上が会場を埋めました。 主催者を代表して飯尾大地評 副会長があいさつ、三池労組の 中原組合長が経過と決意を述べ、 高田町労働者協議会の塚野さん が「高田、大和町も石炭政策と 合理化の影響が大きい。全力で 運動を」と訴えました。また、 小野大地評副会長が中央情勢と 県・中央陳情団の活動を報告。 細谷社会党代表、矢田共産党代 表が政治課題としてのたたいの 意義を訴え、最後に安田事務 局長が「石炭問題は緊急で重要、 市民の力を結集して取り組もう」と提起しました。

## 三池遺族会総会

とき 十月二十一日(土)～二十二日(日) ところ 天草・松島旅館 ※出発時間、コースなど別途お知らせします。